

浦佐認定こども園

子育て支援センター

ひだまり

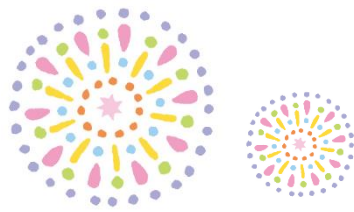
ご予約・お問い合わせ
南魚沼市浦佐5278-9
☎025-777-5560

2022年8月5号

浦佐の夏の夜空に3年ぶりの大花火があがりました。また、浦佐認定こども園のこども達が作った、手作りおみこしも3年ぶりにこども達が担いで、浦佐地域を練り歩きました。地域の皆様の応援、ありがとうございました。夏には夏の地域の行事、日本の行事を子どもたちに経験させてあげたいと願う子育て世帯の思いが叶えられ、本当にうれしく思っています。子どもが子どもらしく、子ども時代を過ごせるお手伝いをひだまりでもしていきたいと思っています。今月もひだまりへ遊びにいらしてくださいね！！



おまごとコーナー、絵本コーナーが広くなりました。ゆっくり遊んでね。



5歳児そら組
こども園おみこし



ピックアップ情報



栄養士しおりさんの夏のレシピ紹介

3日(水)11時～11時半

暑さで食欲の落ちやすい夏の時期、当園栄養士による夏にぴったり、こどもの喜ぶレシピ紹介、給食紹介です。給食は当日の給食も展示します。栄養相談も受け付けますよ。



乳幼児の発育講座 10日(水)10時半～11時

講師 萌気会 公認心理士 鈴木美智子先生

今回のテーマは『言葉を育てる(声かけ、コミュニケーション)』です。予約受付はひだまりかお電話で。当日参加も大歓迎です。



一時保育『わかくさ』(ひだまりの隣のお部屋で保育しています。)

○対象者:南魚沼市在住の生後6か月～5歳児

○時間:8時30分～16時30分(日曜、祝日、年末年始を除く)土曜は相談に応じます。

○利用料:一日1,800円・半日1,150円(延長の場合は、200円/30分 別途)

詳細は、浦佐認定こども園まで(025-777-5560)

* 感染予防対策として、登園時の体温報告(発熱、咳等、体調不良不可) 保護者の送迎時マスク着用。

ご協力をお願いします。



ひだまり利用のご案内（新型コロナウイルス感染防止対策により、ご協力お願いします。）

南魚沼市に住所のある未就園児とその保護者が対象になります。発熱、咳等体調不良のある方はご遠慮ください。親子共、利用前に検温してきてください。大人はマスク着用。入室時と退室時に手洗いか、手指消毒をお願いします。午前中、ご利用人数が多くなった場合は人数制限させていただくことがあります。（制限をするときは玄関外に看板を出します。）ご了承ください。午後（13:00～16:00）はご利用者が少なくお勧め致します。（身体測定と制作は午後も行います。）なお、感染状況によって、予告なく内容の変更や休館になる場合があります。ご了承ください。

8月の予定

日	月	火	水	木	金	土
 ひだまり情報	1	2	3	4	5	6
	身体測定 AM 松下看護師発 育相談	身体測定 成長記録 作り	栄養士しおりさんの 夏のレシピ紹介 11時～11時半	水遊びを 楽しもう！ AM	アスレチック で 遊ぼう！	お休み
7	8	9	10	11	12	13
お休み	水遊びを 楽しもう！ AM	絵本を 楽しもう！	乳幼児の発達講座 10時半～11時	山の日 お休み	お休み	お休み
14	15	16	17	18	19	20
お休み	お休み	お休み	お休み	お休み	お休み	お休み
21	22	23	24	25	26	27
お休み	わらべうたで 遊ぼう！ 10時半～11時	9月の カレンダー 作り	9月の カレンダー作り	みかさんの 英語で遊ぼう 10時半～11時	カプラで 遊ぼう！	お休み
28	29	30	31	ひだまり開放時間は AM10時～12時。PM1時～4時です。ホール使用、昼食の喫食はお休みしています。プログラムは自由参加です。制作、身体測定は午前、午後行っています。		
お休み	自由遊び	8月の お誕生会 11時～	体を動かして 遊ぼう！ 10時半～11時			

実は悩みどころ ほめ方、しかり方

ほめ方：『シャワーのようにほめて、ほめて育てましょう。』などと言われますが、ずっとほめているのも、親としては疲れるし、子どもも実感を持てなそうです。もっと自然体で、『ジャンプができた！』など子ども自身が何か手ごたえがあった時に『すごいね！』『良かったね！』と一緒に喜ぶような『共感する。』ことが大切です。子どもは『（自分の頑張りを）認めてもらえた。』という実感を持つのです。うまくいかなかった時には『頑張ったの見ていたよ。よく頑張ったね。』と声をかけるのも自信につながります。

叱り方：2歳くらいまでのこどもに叱ってもあまり意味は分からないので、『大好きなママ、パパから否定された。』という感じだけが残る、あまり意味がありません。例えば取り合いをしているときに『こっちのおもちやの方が面白いよ。』など切り替わるような提案などをする方が効果的です。でも危険が伴うときは真剣な表情で目を見て『ダメ。』と言葉で伝えると良いでしょう。子どもは大好きな人の表情から感情を読み取ります。また、『ダメ。』という言葉もよく使いがちですが、『ママはそれをして欲しくない。』と簡潔な言葉と真剣な表情で伝えるほうが効果的です。